

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年5月6日

事業所名 Sunny Kids (放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0.2	0.8	利用人数に合わせ物の配置を変えている。	児童が安全に生活できるようにスペース確保に努めていく。
	2	職員の配置数は適切である	0.9	0.1	人員配置は満たしている。	より良い支援ができるように利用人数・状況に合わせて人員確保を行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0	玄関や出入りにスロープの設置。車いす専用トイレも完備している。	引き続き、不備がないか定期点検に努めていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0.8	0.2	朝礼・終礼・会議等で話し合いの場を持ち業務改善を行っている。	引き続き、PDCAサイクルを活用しより良いサービスができるように業務改善に努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	0.7	0.3	アンケート内容を踏まえ改善につなげている。	評価表やアンケートの結果を職員に周知し改善に向け話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	0	昨年よりホームページを使い公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1		外部評価の実施はできていない。今後実施を検討していく必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	0	外部研修に参加したり年間で毎月のテーマを決め研修を行っている。	今後も職種に応じ外部研修に積極的に参加していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	0.9	0.1	保護者様からの意見やアセスメントシートを踏まえ計画書を作成している。	引き続き、保護者様との面談を行い課題やニーズの聞き取りを行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	0	アセスメントシートを盛り込んだ利用調査表を活用している。	引き続き、必要に応じてアセスメントの見直し、職員間で話し合いを行い計画書を作成していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	0.6	0.4	各職種で話し合いを行いプログラムを立案している。	今後も各職種での話し合いを行い立案していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	0.7	0.3	各職種で話し合いを行っている。	各職種の意見を取り入れ活動のバリエーションを増やし、季節のイベントや製作を取り入れ工夫している。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	0.1	0.9		医療的ケア児が対象のデイあこともあり医療処置があることからきめ細やかな支援はできていない。個々の課題を考え時間に応じた課題ができるように取り組んでいく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	0.8	0.2	個々の能力に合わせて個別活動・集団活動を組み合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	0	デイ独自の処置一覧表・送迎表を用いて確認している。	今後も処置一覧表・送迎表を活用しその日の支援や役割分担を確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	0	その日、気になったこと等は職員間で話し合いを行っている。	引き続き支援終了後に気になったことなど話し合いを行い職員間で共有していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	0	デイでの様子は個人日誌を作成し記入している。	引き続き個人日誌を活用し支援の検証・改善につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	0	6ヶ月に1度モニタリングを行い計画書の見直しを行っている。	引き続き個々に合った計画を見直していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	0.7	0.3	集団活動や余暇活動を取り入れ支援を行っている。	引き続きガイドラインの総則に沿って支援を行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0.9	0.1	児発管・看護師 保育士が参加するようにしている。	引き続き、児発管・看護師・保育士が可能な限り参加していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	0	送迎時に先生方と情報交換を行い学校のホームページを活用し情報収集をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	0	保護者様を通じ期間が半年の医師指示書を提出していただいている。	引き続き指示書の更新などがある場合は保護者様に案内していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0.2	0.8		入所依頼があれば情報共有・相互理解に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	1		障がい福祉サービス事業所等への案内はできていないので卒業生がいる場合は情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	センター主催の研修にはかならず参加し連携や助言を受けている。	引き続きセンター主催の研修などがあれば積極的に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1		医療的ケア児が対象のデイなこともあり交流する機会が難しい、保護者様より希望があれば検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1		参加できていない。参加する機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	連絡帳を用いてデイでの様子を記載し送迎時も直接保護者様に状況をお伝えしている。	引き続き、デイでの様子や状況を連絡帳に記載していく。送迎時も保護者様と情報共有を行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0.1	0.9		行えていないのが現状なのでペアレント・トレーニングを行えるよう研修に参加し理解し今後は積極的に行っていく。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	0	契約時に重要事項説明書・契約書を用いて説明している。	引き続き、事項説明書・契約書を用いて説明を行っていく。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	0	相談があった際には適切に対応・助言ができるよう心がけている。	引き続き、内部研修や外部研修に参加し適切に助言や相談ができるよう努めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1		行えていない。保護者様の希望を聞き今後取り入れていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	0.8	0.2	苦情相談マニュアルを作成している。契約時にも説明を行っている。	引き続き保護者様から苦情があった際は迅速な対応ができるよう心がけていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0.6	0.4	ホームページや配布物・連絡等で発信している。	引き続き、情報発信を行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	1	0	利用者様情報は個々のファイルにまとめ鍵付きロッカーにて保存している。	引き続き、取り扱いには注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	0.9	0.1	電話・文章・写真・個人日誌の提示を行い情報伝達している。	引き続き、保護者様、児童に合わせた対応を心がけていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0	1		コロナ禍なこともあり地域住民を招待するような取り組みはできていない。今後落ち着けば行事の招待などを行っていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0.8	0.2	職員に対しては内部研修を通し周知している。	今後は保護者様にも周知していただけるよう配布などを配り周知していただく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0	定期定に実施している。	引き続き、災害に備えた避難訓練を実施し迅速に避難ができるように取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	毎年、虐待に関する内部研修を実施。外部研修や大阪府から案内が来る研修にも必ず参加している。	引き続き、内部研修や外部研修に参加し虐待防止に努めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0.7	0.3		現在身体拘束をする児童がいない。 今後必要とする児童が居れば十分に説明を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	0	フェイスシートを用いて必要な情報を記入している。	引き続き、食物アレルギーの把握に努めていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	0	職員がいつでも閲覧できるようにしている。	引き続き、事業所内で共有し防止に努めていく。